



## 京都大学 基本理念

創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、  
多面的な課題の解決に挑戦し、**地球社会の調和ある共存に貢献する**

## 現状と課題

- 複数の領域で最先端研究をリード
- 教育の国際化は未だ不十分（留学生数等）
- 若手教員数の減少
- 産官学連携活動の推進体制の再構築が必要
- より一層の社会貢献

2017年6月指定国立大学法人に指定

10 学部

学生数：22,650

18 大学院

教職員数：7,250

13 附置研究所

22 教育研究施設等



## 京大流経営改革 4つのビジョン

柔軟かつダイナミックな体制による知の創造

新たな社会貢献モデルの構築

高度で多様な短期層景の形成

世界に伍する京大流大学運営

ガバナンス強化と財務基盤強化を基盤に研究力強化、人材育成、国際協働を推進

### 産官学連携の新しい 「京大モデルの構築」

戦略的分化

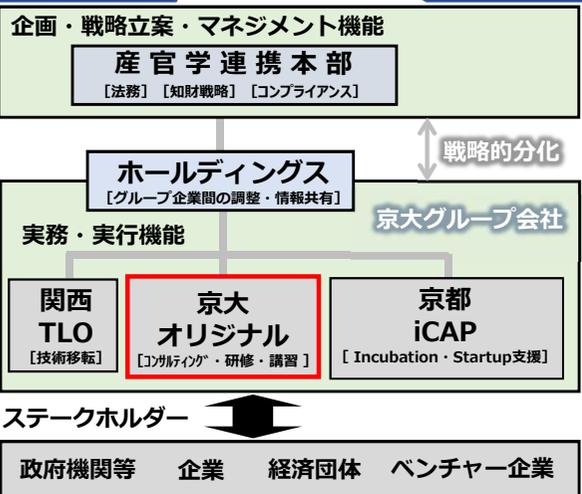
産学連携特区・イノベーション特区

オープンイノベーション  
機構  
[戦略支援] [大型プロジェクト実施]

戦略的分化

✓財務基盤強化により

資金を多様化し、  
効果的・効率的な活用が  
可能な体制を構築

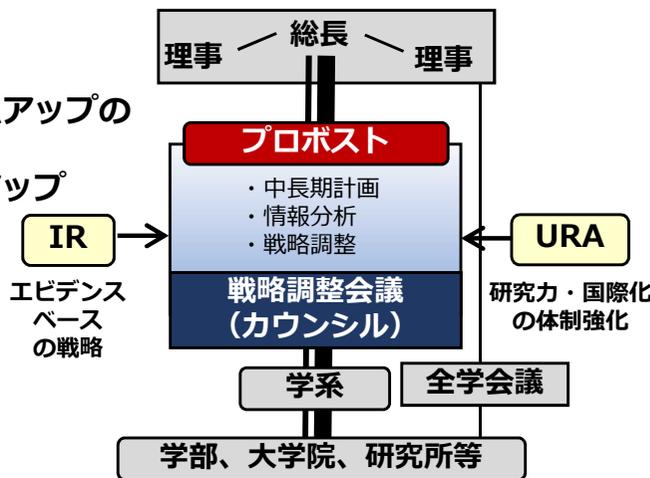


### 京大版プロボスト

✓ガバナンス強化により  
トップダウンとボトムアップの  
調整機能を強化し、  
大学経営をスピードアップ



戦略調整会議（カウンスル）



## 取組を加速化し、世界最高水準の研究・人材育成拠点へ

## 成果目標

- ✓研究力強化：トップジャーナルへの掲載数拡大
- ✓産官学連携強化：共同研究の拡大

- ✓多様な人材獲得：優秀な若手教員獲得
- ✓外部資金獲得：寄附金受入額拡大

<取組①> 柔軟かつダイナミックな体制による知の創造事業

〈現状と分析〉 ●複数の領域で世界の最先端研究をリード  
●強い分野をさらに進化させ融合領域を開拓するとともに、特徴ある分野の国際展開を図る

(1) 世界を先導する最先端研究の推進

・再生（先端）医療分野の強化を図るとともに、共同研究と産学連携の拠点として平成29年度にサンディエゴに設置したリエゾンオフィスを機能強化

ベンチマーク：米国 カリフォルニア大学サンディエゴ校

・平成28年度に設置した卓越した研究者の英知が結集する国際研究ハブである高等研究院の機能強化



(2) On-site Laboratoryイメージ

(2) On-site Laboratory事業の推進

・海外大学等との間での現地運営型研究室について制度設計を進め、平成31年度以降順次設置  
・研究交流を土台にした人材交流の好循環をもたらす

KPI

- (1) Top 5%ジャーナルへの論文掲載数 第3期中1,000篇〔H29年909篇〕
- (2) On-site Laboratory制度の構築及び設置数 第3期中5件

<取組②> 高度で多様な頭脳循環の形成事業

〈現状と分析〉 ●教育の国際化は未だ不十分  
●学生から教員まで、多様な人材を育成し広く社会に輩出するとともに、国内外から獲得を行う

(1) 次世代研究者獲得・育成支援事業

・人事給与システム改革を進めつつ、平成31年度に若手教員のための定員を新設するとともに若手教員ポストの確保のための制度改善等を推進  
・世界トップレベルで活躍するとともに次代の学術を担う研究者の育成

(2) GST (Graduate Student Training) センター (仮称) の設置

・TA・RAの質向上等のためGSTセンターの制度設計を進め、平成32年度から運用開始  
ベンチマーク：米国 カリフォルニア大学バークレー校

(3) 留学生リクルーティングオフィス (仮称) の設置

・ASEANを重点地域とし、大学院進学を希望する留学生のリクルート活動を実施する留学生リクルーティングオフィスを平成31年度に設置

ベンチマーク：英国 インペリアル・カレッジ・ロンドン

KPI

- (1) 定員内若手教員（40歳未満）の割合 第3期末23.0%〔H29年度19.4%〕
- (2) 外国人留学生受入数 第3期末3,450名〔H29年度3,233名〕

<取組③> 新たな社会貢献モデルの構築事業

〈現状と分析〉 ●産官学連携活動を推進する体制の再構築が課題  
●文化学術都市KYOTOを背景とする本学の学術的レピュテーションは一定の国際的評価を得ているものの、現代的課題の解決に寄与する価値の発信は未だ十分とは言えない

(1) 産官学連携の新しい「京大モデルの構築」

・平成30年度までに設立した大学出資による3つの機能別事業子会社を運営  
・「組織」対「組織」の産学連携を集中的に実施するオープンイノベーション機構を整備

ベンチマーク：英国 オックスフォード大学



(1) 京大オリジナル設立記者会見

(2) 人文・社会科学の未来形の発信に向けた体制構築

・平成29年度に文学研究科にハイデルベルク大とのJDを設置するとともに、平成31年度に経営管理大学院にコーネル大とのDDを開設予定  
・パイロット・プロジェクト（第1弾アジア人文学）の推進により、人文学の新しい潮流の形成と世界への発信に向けた体制を構築



(2) JDを設置したハイデルベルク大学

KPI

- (1) 共同研究の実施金額 第3期末62億7,500万円〔H29年度50億7,146万円〕
- (2) ベンチャー企業創出数 第3期中40社〔H28-29年度18社〕

<取組④> 世界に伍する京大流大学運営事業

〈現状と分析〉 ●包括的課題の戦略立案のために、トップダウンの方針とボトムアップの意思を恒常的に調整する体制を整えたところであり、体制強化が必要  
●安定的な自己収入の確保が必要

(1) 京大版プロボスト構想の推進

・平成29年度に京大版プロボスト・カウンシルを導入し、大学経営をスピードアップ  
ベンチマーク：米国 スタンフォード大学

(2) 全学海外拠点展開事業

・世界各地のハブ機能を有する全学海外拠点（欧州・ASEAN・北米）の機能強化

(3) IRを活用した大学運営に向け必要となる体制等の強化

・エビデンスベースの適切な大学運営に資するようIR機能を強化

(4) 学術研究支援室 (KURA) の体制強化

・研究力強化と国際化の戦略的推進のためKURAの体制を強化



(2) ASEAN拠点のNGO認可

(5) 基金寄附募集活動推進事業

・基金室を拡充するとともに全学的な体制強化を図り、寄附募集活動を展開

KPI

- (1) 京都大学基金（特定基金を含む）寄附受入累計額 第3期末累計125億円〔H29年度累計70億円〕



事業名		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
柔軟かつ ダイナミックな 体制による知の 創造事業	世界を先導する 最先端研究の推進		医学生物分野・再生医療関係分野の強化推進 サンディエゴ・リエゾン・オフィス機能強化 高等研究院の機能強化				KPI Top5%ジャーナルへの 論文掲載数1,000篇
	On-site Laboratory事業の 推進		On-site Laboratory制度設計		On-site Laboratory 設置開始・拡充	On-site Laboratory 5拠点設置	KPI
高度で多様な 頭脳循環の 形成事業	次世代研究者 獲得・育成支援事業		学系単位の人事計画策定 若手重点戦略定員の制度設計 若手教員ポスト確保のための制度改善 国際公募により優秀な若手研究者を採用		若手重点戦略定員による若手教員の拡充 若手教員ポスト確保のための制度改善 国際公募により優秀な若手研究者を採用	定員内若手教員 (40歳未満)の 割合23.0%を達成 (本務教員28.3%)	KPI
	留学生 リクルーティング オフィス(仮称)の 設置		リクルーティングオフィス設置準備		大学院レベルの海外リクルーティング調査 ASEANを重点地域としてリクルーティング 対象地域の拡大	外国人留学生受入数 3,450名の達成	KPI
新たな 社会貢献モデル の構築事業	産官学連携の 新しい 「京大モデル」の 構築		京都アカデミアフォーラム における活動推進 京大オリジナル設立準備		京都アカデミアフォーラムにおける活動推進 京大オリジナル・京都大学イノベーションキャピタル・関西TLOの 3子会社連携に向けた取組推進 オープンイノベーション機構の整備による大型産学共同研究の加速	共同研究実施金額 62億7,500万円の達成 ベンチャー企業創出 40社の達成	KPI
世界に伍する 京大流 大学運営事業	基金寄附募集 活動推進事業		ファンドレイザーの雇用による基金室拡充 全学的な寄附募集の体制強化				KPI 京都大学基金 (特定基金を含む) 寄附受入累計額 125億円の達成